

LA BAVETTE DE L'AMICALE



権力の移転（ベルナール様が食べる）

7月 22日の会合

新型コロナウイルス感染拡大以来、初めて開かれた会合では、今までで一番多くの参加者でぎわいました。当日の議題は新会長の選出；唯一の立候補者であったフィリップ・バトンが満場一致で会長に任命されました。新しい事務局メンバーは、ベルナール・アンクティル、ユゴ・サンリトロ、ミカエル・ミカエリディス、クリストフ・ポコ、パトリック・パッシュション、アントニ・ドゥヴィル、マキシム・オトリエ、マチュー・トサック、モハメッド・ベンザマン、フィリップ・ミュレ、そして、フレンチレストラン「モナリザ」のオーナーシェフ河野透。アミカルの事務局にフレンチの日本人シェフが入るのはなんと初めてです。

すでに築かれてはいますが、我々の



会と日本におけるフレンチガストロノミーの推奨者ともいえる日本人シェフのつながりをより強めたいというのが、新会長の思いです。

そして、前会長のオリヴィエ・オドスとその事務局メンバーの業績に心からのお礼。

続いて、今宵のスポンサーの皆様への感謝の辞；

アルカン メゾンルージエ様よりフォアグラベビット、ルデュッフ・ブリドールグループ（カミーユ・チュレ）様よりバゲットとカンパニュパン、クラシックファインフーズ（ベルナール・アンクティル）様よりシャルキュトリ、チーズ、仔羊ジゴ肉、日仏貿易（アントワーヌ・バ

イリ）様よりペリエ&シャルトルーズのカクテルとデザート用のアンドロス、ファイエジャパン（フレデリック・モラン）様よりスマートサーモン、ロイヤルリカール（細見）様よりザーヴフルニ・エ・フィスのシャンパン、グランベリエ（フィリップ・バトン）様より白ワインと赤ワイン、日本ビール（近藤）様よりフレンチ生ビールのエスペラドス、ドミニック・ドウセ（ドミニック・ドウセ）様よりカヌレ。

そしてまた私たちを暖かく迎えてくれたプチ・トノーのスタッフの皆様への感謝の言葉。

この素晴らしい、でも気取らない、ビュッフェの前で、肩ひじ張らず、ビールやシャンパンやワインとともに、皆が一堂に会し、友好を深め、



助け合い、分かち合いの気持ちをはぐくむ集いとなりました。

深夜過ぎまで続いた会も、例によって、目に涙を浮かべんばかりのアミカリスト達の次の会での再会の約束とともに、おひらきとなりました。

次のアミカルの会合

2020年9月25日(金)

22:30～

レストラン
ル・プティ・トノー にて

〒105-0001

東京都港区虎ノ門
2-1-1 商船三井ビル1F

Tel:03-5545-4640

www.petitonneau.com

新会長の言葉

新会長として、私を信任してくれた現会員皆様に深謝いたします。

そして、任期を終えた前事務局の皆さん、突然新型コロナウイルスの猛威に見舞われた中での対応、心からその労をねぎらいたいと思います。

全世界が打撃を受けているこの困難な時代、ガストロノミー界も例外ではありません。職を失う者、やむなく店を閉めることになった者、私たちの仲間にもいます。私たちは、皆同じ船に乗っている同士です。私たちの強固なつながりをもてば、お互いに助け合い、この日本で最も弱い立場に立たされざるをえなくなってしまった仲間を支えあう絆になりえるはずです。全員で、どうにか、この難局を乗り越えていきたいと切に願っています。

皆さんご存じのとおり、私は1996年から2004年の8年間、このアミカルの会の会長を務めておりました。あの頃はイベントや、楽しい行事がめじろおしでした。それも当時の事務局の面々の団結があってからこそでした。あの時の心持をつなげていきたい、当時のメンバーも新しいメンバーと一緒に集まり、思い出に残る、暖かい親睦の時を分かち合いたい、と深く望んでいます。

私のこの思いを実現すべく、志をひとつにし、会の発展に寄与したいと元気いっぱいにのぞむ素晴らしいスタッフが事務局にそろっています。

この日いづる国で、私たちのアミカルの会が、末永く繁栄することを願ってやみません。

フィリップ・バトン

美食愛好家たちが編集
し印刷したものです。
このバベットの記事の一端から万が一障が生じてもアミカルの会はその一切の責任をおわないものとします。事務局

